

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>中島小への統合時点で616人の20クラスとのことなので、教職員は30人ほどになると思うが、中島小周辺は住宅地のため、学校内に教職員や保護者の駐車場を確保することが難しい。また、子どもの人数に対し、グラウンドや体育館等が足りなくならないか？中島小への仮移転は6年間と長く、その間子どもたちの学校生活が心配である。中島小は旧大和町地区で最も古い、他の選択肢はなかったのか？</p>	<p>まず、旧大和町地区の小学校を最初に統合する計画案としたのは、既に複式学級の基準に合致している学校が地区内に存在するためである。複式学級解消は喫緊の課題であり、この解決を急ぐため、一時的な行き先として、6校の中で最も規模の大きい中島小への統合を計画している。現在の想定では、通常学級が20クラス、特別支援学級が4クラス的全24クラス必要である。そのため、中島小での統合に際し、特別教室を普通教室に転用、エアコンを持ってくる等の改修を行う予定である。また、周辺環境については、他の校区の説明会でも同様の指摘があったところである。私共としては、スクールバスはそれほどの台数を必要としないと考えており、協議会で検討する事項ではあるが、バスを学校に滞留させないよう、学校から少し離れた場所でバスを乗降する等を検討し、解決を図りたい。さらに、学童保育については、今のところ4教室必要と試算しており、スペースを確保し、プレハブ等を検討したいと考えている。中島小での6年間が不便なく過ごせるように、適宜投資し、整備を進めていくつもりである。なお、駐車場整備等は今後の検討課題であるが、現時点でどこを使うという考えはない。ただ、保護者の駐車場を学校内に確保するのは、もともと整備対象でなく、どの学校においても難しい。周辺の道路の迷惑にならないよう、検討を行っていきたい。</p>
2	<p>関連するため続けて質問する。現在の中島小は、18クラスあった当時に建て替えた施設であるため、教室数は十分だと思う。しかし、現在は車で通勤される先生が多いため、教職員駐車場の拡張が必要である。アスレチック広場等を潰せば可能かと思うがいかがなものか。また、6月の議会で、学童保育は学校敷地内に確保すると答弁があったが、旧大和町地区全体であれば利用者は150人程と思われる。中島小のどこに確保できるのか疑問である。さらに、スクールバスの運行について、周辺道路が狭く、保護者の送迎もあるため、渋滞が懸念される。保護者の駐車場として校庭を使おうにも、雨の日もあり、対応が難しい。なお、中島小の校舎は、梅雨の時期、構造上、床がとても滑りやすくなっている。豊原小が空かないと、統合中学校が開校できないため、このような計画案であると思うが、これらの事項を検討された上の計画なのか？</p>	<p>その場合でも、遠からず1つに統合しなければ、どちらか、もしくは両方の学校が学年1クラスとなり適正規模が確保できず、短期間に再編統合を2回行うことになる。私共としては、一度に6校統合するほうが、子どもたちへの負担が少ないのではないかと考え、この計画を立てている。今もらった意見は持ち帰って検討する。</p>
3	<p>他の小学校も空いているので、中島小に6校全て統合するのではなく、3校ずつなど2つに分けて統合するのはどうか？</p>	<p>その場合でも、遠からず1つに統合しなければ、どちらか、もしくは両方の学校が学年1クラスとなり適正規模が確保できず、短期間に再編統合を2回行うことになる。私共としては、一度に6校統合するほうが、子どもたちへの負担が少ないのではないかと考え、この計画を立てている。今もらった意見は持ち帰って検討する。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
4	この3年間、子どもたちは新型コロナウイルス感染症により精神的な負担を強いられている。今後の学校再編で、また学校に振り回されることになる。既に切羽詰った状況にある学校だけ統合し、仮移転を挟まず、最終的に大和中にまとめて統合する方が良いのではないかと？	組み合わせの問題になるので、再度持ち帰り検討する。
5	<p>持ち帰るのは良いが、グラウンドや学童保育など規模的に足りないものは検討しても解決しない。中島小では難しいので、積極的に別案を考えるべきでは？教育長からお答えをいただきたい。</p> <p>周辺整備等は、教育委員会だけでは難しいと思うので、市として率先して取り組んでいただきたい。</p>	<p>貴重なご意見をいただいた。計画案を作る段階で、今言われたような案を含め、様々な方法を検討した。現状で旧大和町地区の児童生徒数の減少は大変厳しい状況にあり、令和3年度に生まれた子どもは60名ほどである。質問にあったように2校に分けるとなれば、単純計算で30名の1クラスずつとなる。今回の学校再編は、恒常的にクラス替えが可能な学校規模を確保したいと考えての計画である。周辺環境の整備については、最大の努力をしながら進めていきたい。ご理解を賜りたい。</p>
5	代表区長会等で話題にしても、他の地区ではまだ先の話と関心が薄い。旧大和町地区で率先して考えていかなければならないと感じる。特に、旧大和町地区は過疎地域指定を受けている。この財源の効果的な活用をお願いしたい。「住んでよし、訪れてよし」ひいては「働いてよし、遊んでよし」とあるが、子どもたちも「よし」と感じられるような、より良い教育環境を作るため、子どもたちにストレスをかけないような方法で進めて欲しい。	子どもたちの教育環境の整備については、学校数が減ることによって新設校に資金を集中させることができるようになる。校舎や周辺環境など子どもがストレスなく学校生活を送れるよう、学ぶにふさわしい環境整備を行っていく。開校時点ですべての整備を完了させるのは難しいと思うが、開校後も継続して整備していきたい。
	また、旧大和町地区の学校再編協議会は1年半と期間が短いので、専門知識のある皆様からの提案をもらいつつ、丁寧に進めて欲しい。	再編協議の期間が短いことについては、大変恐縮する次第である。検討委員会からの答申で、10年間で学校再編を行うことになり、期間から逆算しての計画であり、大変タイトなスケジュールになっている。特に、旧大和町地区に関しては急ぐ事情があるので、ご了承いただきたい。もし協議がまとまらない場合は、さらに期間を設けることも考えられるが、極力スケジュールに沿うように教育委員会からも支援しながら、しかし無理強いせず準備を進めていきたいと考えている。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
6	<p>現在、豊原校区の公民館活動は、豊原小の施設を借りて行っているものが多くある。他の学校の跡地利用は決まっていないが、豊原小は残らない。中学校になった後は、部活動等もあり、今までどおり公民館で利用できるか分からない。それよりも近隣の田を買収して中学校を新設し、統合中学校が開校した後に、現在の大和中に小学校6校統合するのはどうか？</p> <p>豊原校区は、いち早くまちづくり協議会を立ち上げ、いろんな活動を行っており、地域に豊原小は必要である。地域の懸案事項だと思っている。</p>	<p>跡地の問題とも関連するが、市の公共施設総合管理計画の方針で、基本的に公共施設の新設はしないこととしている。これは教育委員会だけでなく、柳川市として検討すべき事項であるため、持ち帰らせていただく。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
7	<p>今回の学校再編の全体計画は良くできていると思う。しかし、現豊原小に統合中学校を作るにはネックがある。まず、豊原小の出入り口は、国道208号沿いの1箇所のみであり、そこから重機を入れるとなれば、工事期間中の渋滞が懸念される。また、統合中学校の建設から現大和中への小学校の移転まで6年間かかり、統合時の1年生は仮住まいの現中島小に入学した後、新しい小学校に行くことなく卒業していく。移転の必要がない他の地域と比べて不公平感がある。そこで、国道443号バイパス沿いに用地を求めて中学校を新設してはどうか？公共施設総合管理計画で施設の新設は難しいということだが、統合中の新設に関しては、国の補助金や廃校となる学校跡地の将来的な売却利益等が見込めるのではないか？複式学級の解消を名目にしてはいるが、前回の検討委員会による10年間の延期があり、既に遅きに失している。先に統合中学校を整備して、現大和中を空け、そこに6つの小学校を統合するという順序にすれば、教職員駐車場や学童保育のスペース、保護者のお迎え問題など、全て解決するのではないか？</p>	<p>様々な課題については承知している。再編の組み合わせに関わる問題となるため持ち帰り検討する。ただ周辺はほぼ農地であり、新しく学校用地を求めるとなれば白紙からの検討となる。</p>
	<p>豊原小周辺も全て農地である。また、近くに水路や線路があり、地形的に拡幅に限度がある。さらに、隣の大森屋工場では各種機械が使用されており、解体や新築に伴う振動により、生産ラインへの影響も懸念される。何か影響が出れば、他の場所に新築するよりも補償金の方が高つく可能性もある。</p>	<p>用地拡幅の限界や振動による影響、補償金の比較等含めて持ち帰らせていただく。ご意見ありがとうございます。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
8	<p>学童保育所としてのお願いである。中島小にプレハブ等により2階建てで4クラス程度の学童保育を確保することのことだが、学童保育は保護者によるお迎えが原則である。豊原学童保育所には利用者が40人おり、運動場の一角を駐車場として借りているが、17:30～18:00のピークには、保護者の車20～30台がひっきりなしに来る。中島小に統合されれば、利用者は100～150人となり、お迎えの車も100台規模になるのでは？また、学童保育の用地を確保すれば、運動場等が狭くなり、子どもたちの遊び場も狭くなる。中島小にいる期間だけでも、他の学校跡地を学童保育所として活用する案を検討して欲しい。</p>	<p>仮に中島小に統合することになった場合に、他の学校を学童保育所として利用する提案について、子育て支援課と協議する中で、放課後の子どもの時間はとても大切であり、移動のために時間に費やすのはどうかという意見もいただいている。また、学校敷地内に学童保育を確保したい理由としては、学校や先生との連携や保健室等の設備面も考えてのことである。学童保育と学校との連携は普段から呼びかけているところでもある。いろんな考え方があると思うので、もちろん今回の意見も子育て支援課に伝えていく。</p>
9	<p>今後の進め方について、説明会后にパブリックコメントを行い、9月下旬に計画を決定することだが、具体的な流れを知りたい。また、毎月1回、大和町地区の区長会を行う中で、8月には過疎地域持続的発展計画について、学校再編に伴う財源の在り方等を議論する予定である。そのため、今回の説明会等で出た意見がどのように反映されるかも教えていただきたい。</p>	<p>今回のような説明会を全41回行っているところであるが、各地区でスケジュールや組み合わせ等についての要望が出ている。説明会終了後、これら意見要望を再検討し、修正が必要な場合は、それを反映した計画案を作成。その後、この計画案を公表し、広く意見を募るためのパブリックコメントを実施する。さらに、パブリックコメントで集まった意見を反映し、最終的な計画案を作成。9月下旬を目途に、教育委員会にて学校再編計画を決定する予定である。正式な計画になった後、新設校ごとの再編協議会(仮称)や施設の設計工事へと進むことになる。なお、説明会で出た保護者や地域住民からの意見については、全ての説明会終了後、パブリックコメントのための計画案を公表する段階で皆様にお示しすることになると思われる。</p>
10	<p>子どもたちにより良い教育環境を作る必要性は理解できるが、そのために現在の子どもたちに我慢を強いるようなことはあってはならない。子どもたちの不安やストレスを受け止めてきちんとした配慮をしていただきたい。</p>	<p>ご意見はもっともだと思う。新しい友達と出会うことが嬉しい子もストレスになる子もいると思う。開校時にいきなり出会うのではなく、タブレット等の活用を含めて、事前交流に取組み、子どもたちがポジティブな気持ちで開校に臨めるようにしていきたい。</p>
	<p>特別支援学級の子どもたちに対する支援は今後どうなるのか？先生は増えるのか？支援員の体制は？</p>	<p>特別支援学級について、6校まとめると4クラス程度になる見込み。特別支援学級にも学級編成上の基準(1クラス8名)があり、これに基づき先生や支援員を確保しており、それは統合後も変わらない。また、学校統合による環境の変化に関しては、子どもたちを十分に支援できるよう、教職員等と準備段階から取り組んでいく必要があると考えている。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
10 つづき	<p>パワーポイントでは触れられなかったが、資料に「小中学校25校を維持管理していくと財政面への負担が大きい」との記述があった。現在、何にどれくらいの費用がかかっており、再編統合により、どの程度改善されるのか？例えば、人件費がどれくらいかかっているのかなど。</p>	<p>財政面への負担についてだが、先生方は県から配置されるため、人数が増えてもあまり市には影響ない。最も市の負担が大きいのは、施設の維持費である。市内全校の耐震工事は終わっているが、築年数がたっているので随時補修が必要となり、数が多いので費用が嵩んでいる。今後、統合により学校数が少なくなり、継続した施設利用が見込まれるのであれば、思い切った大規模な改修が可能になる。また、旧柳川市、旧大和町は過疎地域指定を受けたところなので、学校に対して投資しやすいタイミングだと考えている。開校時に全ての整備は難しいかもしれないが、継続して環境整備を行っていきたい。</p>
11	<p>要望である。豊原校区は市内で最初にコミュニティスクールの取組みを始めた。また、豊原校区は50年程前から校区民全員がPTA会員として学校を支えている。このような風土から、豊原小はICTなどの研究指定校として、教育を先進してきた伝統がある。新しい学校にも、これらの取組みを継続して生かして欲しいと校区の皆が望んでいる。さらに、現豊原小の用地についても、有志による寄付によって広がってきた経過がある。このように地域ぐるみで学校を支援する風土、伝統を考慮して、跡地活用の検討材料にしていきたい。</p>	<p>現在に至るまで豊原校区の皆様により学校を支えていただいていること、また、コミュニティスクールやまちづくり協議会等に先駆けて取り組んでいただいていることについて、大変ありがたく思っている。学校再編にあたり既存の小中学校区を分割しない理由は、こうした地域の力を新設校にもお貸しいただきたいと考えてのことである。どのような学校ができるにせよ、地域の皆様の力は必要となるので、是非お力添えをお願いしたい。</p>